

# 活かす通信

2022年2月 (175号)

<http://www.toushi-club.com>

★★

巻頭言

元時事通信記者 篠田憲明

真価問われる岸田首相—オミクロン株と参院選が焦点

★★

1月17日に通常国会が召集され、19日20日の両日、各党代表質問が行われた。自民、公明の与党を含めた各党代表の質問に対し、岸田首相はモットーの「聞く耳」を発揮して各代表がした質問項目に逐一答弁。よくある“答弁抜け”がほとんどなく野党としての追及は、一問一答形式でより細かくやり取り出来る衆院予算委員会を待たねばならなくなった。ただ予算委員会で岸田首相が問題発言をしそうではないし何となく今国会（1月17日召集、6月15日閉幕）はクリア出来そうだ。しかし、オミクロン変異株が猛威を振るっておりこれに岸田首相は苦闘している。これの対処によっては、岸田内閣支持率が暴落しないとも限らない。目下、岸田内閣の支持率は52%から66%までと各社とも極めて高い。オミクロン株の“爆発感染”があって指示が朝令暮改しているものの上昇している。ただ、岸田首相は施政方針演説で中国の尖閣諸島への不法侵入やウイグル族や香港での人権侵害などは触れなかったことが自民党内で問題になっている。またオミクロン変異株の感染力が強すぎて医療崩壊が起きる可能性も。岸田首相への信用失墜も有り得る。

問題は参院選挙である。政府与党は6月15日までの通常国会は延長しない方針で公選法の規定などから7月10日を参院選投票日とする予定だが、どうも自民党と公明党間がぎすぎすしている。2回目の10万円給付金問題が発端なのか。これは昨年の衆院選挙での公明党の公約であるため、公明党側が積極的だった。これに対し自民党は“バラマキ批判”を警戒し、結局、所得制限を設け年収960万円以下で合意した。しかしこれが背景にあるのか、いつも参院選で自公が相互推薦をしている。「公明党が1人区での自民党候補推薦し自民党も複数区での公明党候補を推薦する」というもの。過去の参院選で問題にならなかったのに、これが合意出来ないようだ。自公両党の参院勢力が過半数いかない場面が出て来る。今は幹事長レベルでの調整に任せているが、ここで岸田首相がこの問題にどんな指導力を発揮するのか。出来なければ即政局である。維新や国民民主党など

の巻き込んだ大掛かりな政局である。

(憲)

★★

勝池レポート アジア資産運用アドバイザー 勝池和夫

「インド経済のイメージ」

★★

以下のビジュアルは、私のインド経済のイメージです。車の走行に譬えて、そのスピード（成長性）と安定性を連想しています。

インド経済のイメージ  
～新興国の成長力と先進国の技術力が車の両輪～



インドがまだ BRICS の中の一つの新興国であった頃、その経済の成長物語は専らこの絵の左側、つまり大きな国内市場を背景に世界に追いつていく姿でした。インドの車（経済）が走れる交通インフラの整備も徐々に進みました。

しかし、今のインドのストーリーには、デジタルインフラの急速な普及で、右側のハイテクの中心地として世界をリードする先進国の姿が加筆されています。

そのしっかりとした両輪でこれからのインド車はスピードを上げ、同時により安定した走行を長距離続けることが可能になると期待しています。因みに、写真の車のドライバーは、運転技術（経済運営）に長けたモディ首相です。

このような走行が可能な車は世界では他に見当たりません。例えば、経済成長率の1%を車のスピード時速10キロとすると、世界車（世界経済）はコロナが影響した年を除けば大体30キロで走っています。また車種別では、世界最大のアメリカ車のスピードはせいぜい20キロ台です。長く100キロで走っていた中国車は、この先50キロ40キロとスピードを大きく減速しそうな気配です。我が

日本車は 10 キロが精いっぱい、殆ど路肩に止まっているのと変わりません。

ではインドの車はどうか？私は、コロナ前までは平均 60 キロ程がやっとでしたが、今後は安定感のある両輪と民主主義国家という車体に支えられ、今まで無かったような高速走行を見せてくれるのではないかと想像しています。

★★

## ムッシュ望月の映画ランキング+相場展望

映画は世につれ、世は映画につれ、世相を反映する相場

★★

1, 映画：洋画「HOUSE OF GUCCI」

2021 年は毎月 12 本程度の映画を観ました。通算では 140 本となりました。12 月にご紹介したい映画は 6 本で、第 93 回アカデミー賞長編映画賞にノミネートされた「皮膚を売った男」、心もお腹も満たす大人気ドラマの映画化「きのう何を食べた」、フランスで 100 万人を動員したヒット作「ローラと二人の兄」、世界は本当に現実なのか、知りたければ赤を選ぶ・青を選ぶ？「マトリックス・レザレクションズ」、第一次世界大戦に隠された、最強スパイ組織の過激な誕生秘話「キングスマン」、昨年最後の作品はカナダのいや世界の歌姫セリーヌ・ディオンの半生を描いた作品「ヴォイス・オブ・ラブ」。今回の紹介作品は、華麗なるグッチ一族の闇に包まれた実話「HOUSE OF GUCCI」、貧しい家の出だが野心家のパトリツィア・レジャーニ（レディー・ガガ）は知性・美貌で魅了し後継者のマウリツィオ・グッチ（アダム・ドライバー）と結婚、次第に一族の権力闘争まで操り、強大なファッションブランドの支配を企み始める。二人の結婚生活に陰りが見え始めた頃、パトリツィアは破滅的な決断を招く道へ走り出す。マウリツィオの狡猾な叔父を演じるのは名優アル・パチーノ、昔気質の父親を演じるのはジェレミー・アイアンズと豪華キャストで華麗なる一族の真実を明らかにしていきます。アル・パチーノの出演作品には、「ゴッドファーザー」「セルピコ」「狼たちの午後」「セント・オブ・ウーマン/夢の香り」「ジャスティス」「インサイダー」「アイリッシュマン」があり、彼の演技を堪能しました。その彼も 81 歳の役者で、アンソニー・ホプキンス（84 歳）と同じく生涯現役を貫いています。

## 2, 相場展望：オミクロンは乗り越えられるか??

昨年は丑年相場で、余り期待できない年回りであったが、上昇率 5.5% で終わった。世界の市場の中では見劣りがするパフォーマンスであった。2022 年の寅年も余り期待できない年回り、戦後 1950 年からの勝率は 1 勝 5 敗と唯一 1986 年以外はマイナスパフォーマンスである。期待出来ることは、「五黄の寅」の 1986 年が 41% のプラスということで、オミクロン株の収束次第では、負のエネルギー

ーがプラスに転じる可能性も否定はできない。昨年の高値は2月20日の30714円、9月18日の高値30795円とテクニカル的にはダブルトップを形成している。30795円時点の日経平均のEPSは2175円で、現在は2030円程度であり、減益の状態となっているので、1月末から2月中旬までの決算発表で2175円を抜く動きが出ない限りは、昨年の高値を更新して32000円まで到達するには難しいと言える。2月10日の780社、14日の555社が決算集中日となる。注目は、2月2日のソニーG、2月8日のソフトバンクG、2月9日のトヨタ自動車で、この3社の純利益次第では、EPS2175円超えも期待出来る。全体にも増収増益の企業が多いだけに期待が高まろう。その時点では米FOMCの金利引き上げのスケジュールも年3回となるか4回となるのか見えてこよう。もう一つの原油高については、ロシアのウクライナ侵略懸念もあり、結論はまだ出にくいと思われる。相場格言の「節分天井、彼岸底」には成りづらく、最悪は「節分底、彼岸底」ということも。ただ個別のEV（電気自動車）関連の動きには注目したい。1月28日の田中化学研究所、2月8日の住友金属鉱山、新日本電工、2月9日の新電元、2月10日の日本電解、2月14日の小田原エンジニアリング等。

★★

## 2022年2月のイベント+お知らせ

★★

今年の新企画は勝池塾で、成長するインドをテーマにした勉強会です。

特別企画：22年2月26日（土）：14：00～16：00 6回シリーズ

講師：勝池和夫氏、アジアコンサルタント

「異次元の成長が期待されるインド経済」

02月02日（水）：15：00～花咲投資クラブ、イカス事務所

02月08日（火）：16：00～イカス投資塾（昼間）、イカス事務所

02月10日（木）：13：30～日比谷会投資クラブ、イカス事務所

02月15日（火）：18：30～イカス投資塾（夜間）、イカス事務所

02月19日（土）：13：00～アマルフィ投資クラブ、リモート

02月19日（土）：15：00～スペリオール投資クラブ、イカス事務所

02月24日（木）：15：00～東京3E投資クラブ、リモート

☆You Tube「ムッシュ望月のこれが注目株だ」2021年8月より

毎月2回配信、大好評！！ <https://youtu.be/sal2oyMxie4>

サロン・ド・知久：

第11回：22年01月26日（水）14：00～16：00 イカス事務所

講師：原真善美氏、基礎からの「日本のことわざ」フランス語訳付き

